

図書館だより 第2号

平成26年7月14日 図書館委員会

課題図書が
決まりました。



第60回 読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。 青少年読書感想文全国コンクール

主催/公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援/内閣府・文部科学省 協賛/サンデー



「アヴェ・マリアのヴァイオリン」 KADOKAWA 香川 宜子 著
アウシュビッツの生存者・ハンナが残したアヴェ・マリア・ヴァイオリン。アウシュビッツ、板東
俘虜収容所、21世紀の日本を舞台に、時代に翻弄された一丁のヴァイオリンの物語が浮かび上がる。



「路上のストライカー」 岩波書店 マイケル・ウィリアムズ 作
母国ジンバブエで虐殺を生きたひたアオは兄と共に南アフリカを目指す。だが、そこで遭遇したのは
外国人への憎悪だった。サッカーに情熱を注ぎ悲惨な現実を乗り越えようとする姿を感動的に描く。



「生命とは何だろう?」 集英社インターナショナル 長沼 毅 著
「人類はどこからきてどこへ行くのか」という本源的な問いに答えるために、生物学者である著者は
38億年前の生命体の起源にさかのぼり、生物の進化の歴史をたどるなかで人類の可能性を論じる。

7月に入って、いよいよ夏休みが近づいてきました。

夏休みは読書の取れるとき。この機会に、長い小説やシリーズものをまとめて読んでみませんか。
また、ちょっと気分転換したいときに、いろんなジャンルの本を読んでください。そこからお気
に入りの一冊が見つかるよまた読書が楽しくなります。おすすめの本を紹介します。

速報

夏休みにたくさん本を読んでみませんか?

今年も夏季休暇中の長期貸出を行います。

本学の図書館には、資格、就職、趣味、ライトノベルなど、多岐にわたって所蔵しています。
この機会に図書館を利用して英知を養いましょう。

- ◆貸出開始日 7月15日(火)
- ◆返却期限日 9月3日(水)
- ◆貸出冊数 10冊
- ◆マークが開館日・開館時間 9:30~15:00



本屋大賞図書が入りました。
読みにきてね。

全国書店員が選んだ 2013年 大賞 本屋大賞



戦国の世を舞台に、
海賊王の娘の活躍を描いた
歴史エンターテインメント!
2014年 本屋大賞受賞
村上海賊の娘
和田竜



「村上海賊の最盛期を作った武将・村上武吉(たけよし)の家系図を調べました。武吉の血を分けた娘なら、荒くれ者たちに立ち向かって戦うイメージが湧いたから。大半が養女のなか、1人だけ実娘がいた。実在するその女性に、粗暴だったり、性的に奔放だったとか、記録のある戦国の女性像を集めながら、景を作っていました」

夏休みの開館案内

	日	月	火	水	木	金	土
7月	13	14	15 午後 保護者会	16 午後 保護者会	17 午後 保護者会	18 終業式	19
	20	21 海の日					26
	27	28					
8月						1 登校日	2
	3	4 オープンスクール					9
	10	11					16
	17	18	19 登校日				23
	24	25					30

『昨夜のカレー、明日のパン』木皿泉



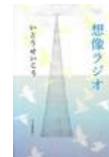
木皿さんが、自らの手でドラマ化。
2014年10月スタート。見終わ
った時、「昨日」より少しさわやかな
「明日」を迎えられる。そんな一
筋の光のような感動作品。

『とっぴんばらりの風太郎』万城目学



天下は豊臣から徳川へ。重なりあ
った不運の末に、あえなく伊賀を
追い出され、京(みやこ)でぼんくら
な日々を送る「ニート忍者」風太
郎。その人生は、1個のひょう
たんとの出会いを経て、奇妙な
方向へ転がっていく。燃えさがる
天守閣を目指す風太郎の前に
現れたものとは?

『想像ラジオ』いとうせいこう



耳を澄ませば、彼らの声が聞
こえるはず。ピロシマ、ナガサキ、
トウキョウ、コウベ、トウホク
...。生者と死者の新たな関
係を描いた世界文学の誕生。

『島はぼくら』辻村深月



島に高校がないため、4人はフェ
リーで本土に通う。ともに過ごす日
々は瞬間に過ぎて、やがて、それ
ぞれの道を歩み出す日が近づく。
四人で過ごす一度きりの季節に、
青春が見せてくれたものとは。

『教場』長岡弘樹



君には、警察学校を辞めてもら
う。この教官に睨まれたら、終
わりだ。全部見抜かれる。誰も
逃げられない。前代未聞の警察
小説!

『聖なる怠け者の冒険』森見登美彦



「何もしない、動かない」ことをモ
ットーとする社会人2年目の小和田君。
ある朝目覚めると小学校の校庭に縛
られていて、隣には狸の仮面をかぶ
った「ぼんぼこ仮面」なる怪人が
いる。そのぼんぼこ仮面から「跡
を継げ」と言われるのだが……。

『さようなら、オレンジ』岩城けい



自分が生きる道をつかみたい…。
故国を遠く離れ、子供を抱えて暮
らす女性たちは、たがいに支え合
いながら、各々の人生を切り開
いていく。

『ランチのアッコちゃん』柚木麻子



屈託を抱えるOLの三智子。彼女
のランチタイムは一週間、有能な
上司「アッコ女史」の指令のもと
に置かれた。前向きで軽妙洒落、
料理の描写でヨダレが出そうに
なる、読んでおいしい短編集

『去年の冬、きみと別れ』中村文則

愛を貫くには、どうするしかなかったのか?

ライター「僕」は、ある猟奇殺人事件の
被告に面会に行く。彼は、二人の女性を殺
した容疑で逮捕され、死刑判決を受けてい
た。調べを進めるほど、事件の異様さの
み込まれていく「僕」。戦慄のミステリー!

